

PART B

医師需給政策に関する 国際社会の潮流



各種国際機関、各国報告書類

- 1) 世界銀行報告書2004年(ドラフト)
- 2) OECD報告書2004年(ドラフト)
- 3) WHO欧州報告書2005年(ドラフト)
- 4) 米英加3カ国報告書

論調の基調、過剰から不足へ

世界銀行報告書2004

医療人材・5つの問題への挑戦

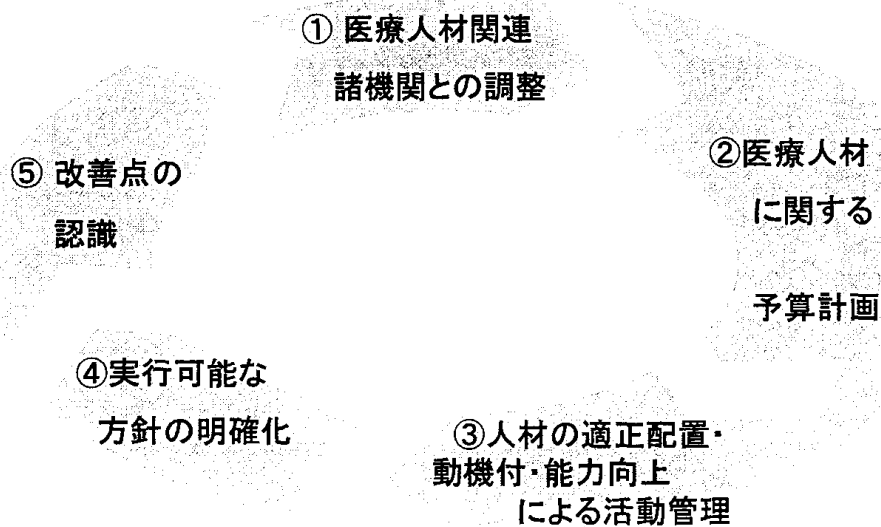
- 世界規模に不足する医療人材
(全世界で合計400万人以上、新規確保が必要)
- 医療人材の技能の不均衡
(医師の専門偏重と公衆衛生軽視、
准医療職員採用のための抜本的保健医療改革)
- 地理的な不均衡
(医療人材配置の都鄙格差、地域住民を保健人材として確保)
- 医療人材の移動
(途上国から先進国への医療人材の“頭脳流出”対策)
- 劣悪な職場環境
(国別に最も必要とされる医療人材の専門、仕事、金銭的誘因を
検討し、職場環境を改善)

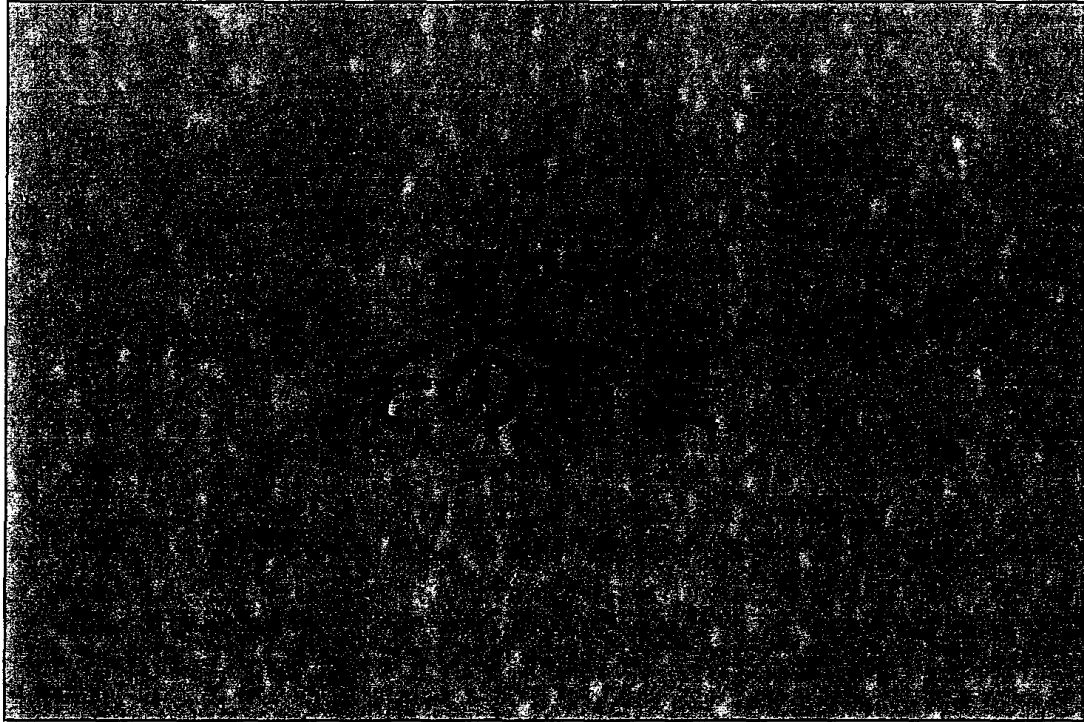
『Working Draft for JLI Co-chairs in Cape Town』より

4つの方策

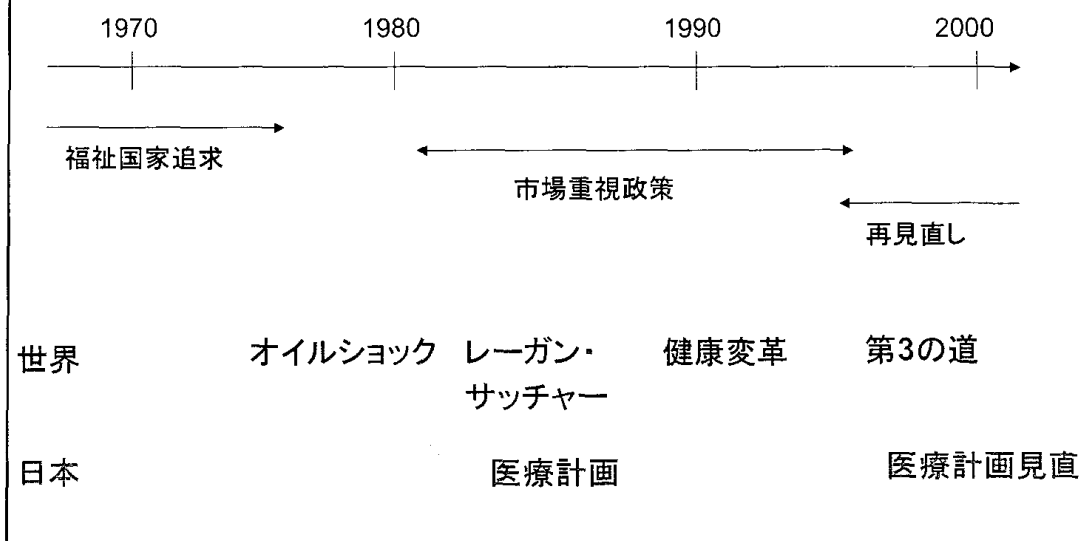
1. “医療人材の10年”（2005-2015年）
2. 健康危機打開のため医療人材を結集
3. 持続的保健システム樹立のための医療人材を確保
4. 活発な医療人材教育活動を関係諸団体間が連携して始動

国家医療人材戦略



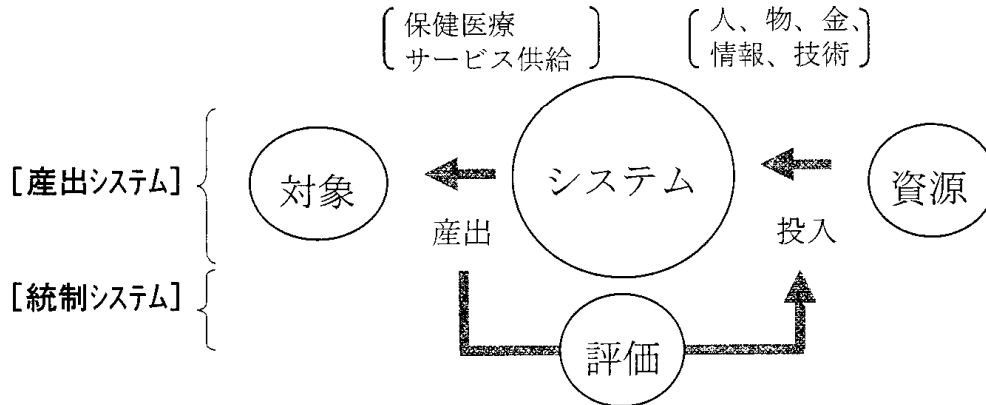


国際的潮流1990年代まで



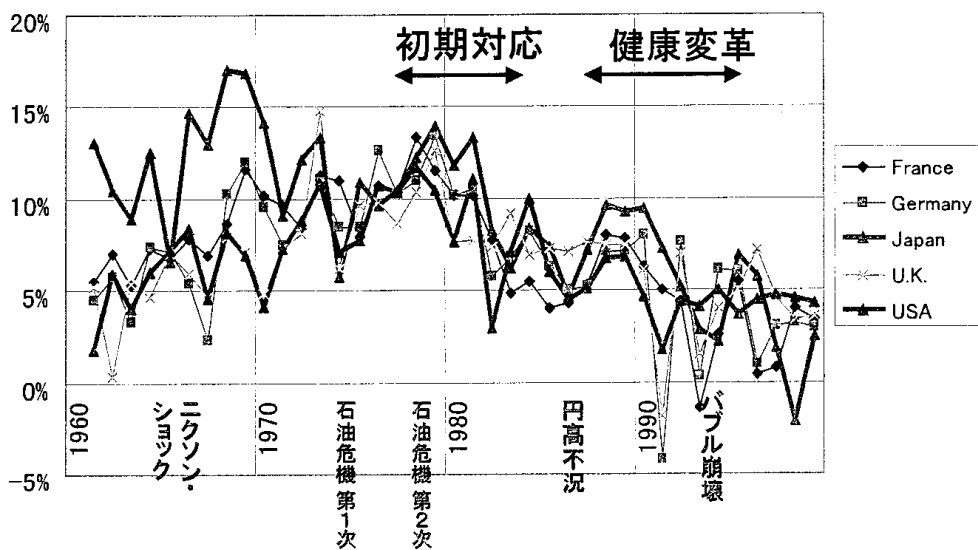
健康変革: 保健医療システムの統合的諸改革

保健医療システムの概念



効率と質の向上を目指して

先進5ヶ国経済成長率



安全質向上国際潮流

	米	英	豪	日
1994	ダナフェーバー事件		医療事故頻度研究発表	
1995				
1996	大統領質諮問委員会		質作業班最終報告書	
1997		ブリストル王立小児病院事件		
1998		A First Class Service		
1999	IQM 報告書(戦略計画)			横浜市立大事件
2000	QuIC 報告書(行動計画)	An Organization with Memory (戦略計画)	Safety First (戦略計画)	
2001		Building a Safer NHS for Patient (行動計画)	National Action Plan 2001 (行動計画)	患者安全行動(PSA)
2002				患者安全国家戦略

国際的潮流

